

まちかどの元気印

日本共産党

市会議員



山田こうじです！

2026年9月20日

NO.377

事務所：西院上花田町36-3

電話：222-3728

携帯：090-3970-4701

山田こうじ共産党検索

子どもたちの最善の利益を最優先に 桃陽病院の役割発展こそ

数少ない貴重な
公立の療養施設

桃陽病院は、1952年に小児結核療養所（旧桃陽学園）として開設されて以来、時代の変化に応じて対象を慢性疾患や心身症、発達障害などへ広げ、医療にとどまらず、療育的支援を含めた包括的ケアを提供してきました。1979年には療養学校 現・京都市立桃陽総合支援学校との連携が整備され、医療と教育を一体的に受けられる環境が構築され、心・体・学びのすべてをトータルに支える仕組みは、ぜん息やアトピー性皮膚炎などのアレルギー疾患、高度肥満症や糖尿病、腎不全などの小児慢性疾患など様々な理由で学校に通えない小・中学校の子どもたちが、安心して病気を治しながら学校で学べる、全国でも珍しい公立の療養施設です。

卒業生ら
存続を切望

しかし、京都市は施設の老朽化や少子化等を背景に桃陽病院の今後の在り方が議論されています。

中学時代2年間桃陽病院で過ごされた方は「一時的の危険もある中での長期入院でした。病状が落ち着いたこ

ろ、隣接する支援学校への登校許可がありました。長期入院が続くなか『早く日常に戻りたい』『勉強がしたい』と思っていた私にとって、それは大きな希望でした。：病気と向き合いながら入院生活を送っていた私にとって、その時間は『自分は患者である前に、一人の生徒なんだ』と感じられるかけがえのない時間でした。桃陽病院で治療を受けながら学生生活を送り、目標をもって日々生活を過ごせた経験は私が夢を持つきっかけとなりました。そして現在私は小児科医として働いています。実際に入院中の子供たちの診療に携わる中で、治療と教育を両立できる環境が、子供たちの心の安定や治療への意欲を支えるうえで、どれほど重要であるか日々実感しています。：桃陽病院を失うことは、これから治療を必要とする子供たちや家族にとって、大きな損失となると思えます」と仰っています。

2歳のころから喘息を患い、発作が起るたびに入院を繰り返す、通常の学校への通学が困難で、人との交流や友人関係の構築が難しいなか、7年間お世話になったという方は「小学校3年生で桃陽病院及び桃陽総合支援学校への

編入が決まり、私の人生はガラリと変わりました。学びながら治療を受けられるという環境は安心につながり病気を理由にあきらめるという選択がなくなりました。小走りするだけで発作を起こし入院していたが、水泳やバスケット、リレーまでできるようになった」等、卒業生からはなくてはならないと強く存続が求められています。

三重県立子ども
心身発達医療センター

三重県立子ども心身発達医療センターは、障がいや発達に課題のある子どもの専門医療・福祉機関である県立草の美りハビリテーションセンターと県立小児診療センターあすなろ学園、三重県児童相談センターの難聴児支援部門を統合し2017年6月1日に新設されました。

公的責任果たし
桃陽病院存続を

「子ども一人ひとりが、その子らしく豊かな人生を送るために」を理念に、児童向けの医療・療育施設で複数の専門療法室と入院病棟を備え、あすなろ分校等と併設した立派な施設です。

京都市は、患者減で収支は悪化し、20年度以降、毎年度2億円超の赤字が続くとして、有識者でつくる検討会（座長 川南島和久・龍谷大教授）を3月に設置しました。

しかし、「京都市内に児童精神科病棟がなく、入院が必要な児童が他府県で半年以上の待機を強いられている現状がある。児童相談所の一時保護所は定員超過しており、医療・福祉・教育が連携した受け皿の維持が不可欠である」とされています。

「三重県立子ども心身発達医療センター」の事業規模は25億円です。そのうち14億円を県からの繰入金で賄い赤字ではないとしています。

京都市は公立の療養施設として、こどもたちの最善の利益を踏まえた総合的な視点から、その役割の維持・発展を検討するべきです。

まいとおおきに

山田こうじです！

NO.363

京北地域で「つどい」が開催され、会場いっぱいの60名余りが参加しました。

2005年4月に京都市に合併され、合併当時の人口は6749人でしたが、2026年7月1日現在4146となっています。20年間で4割近く減少しています。京都市立京北小中学校は開校時（2020年）266人の児童生徒でしたが、わずか5年後の2025年度には119人に45%にまで激減しています。高齢化率も合併当時25.9%から2025年度48.8%と1.9倍になっています。豊かな自然を生かした農業・林業支援等、人口減少対策は待ったなしです。

